

在宅看取り－佐渡でできること

2019/08/01 佐渡総合病院

現在、佐渡では在宅看取りができる訪問医の確保は難しい状況です。ご逝去される場所は病院や施設となりますが、もしも、在宅看取りのご希望があればご相談ください。お看取りで一番大切なのはご本人の意思、それを深く理解するためくりかえす「対話」です。

初めてでとまどうのが普通です。地域医療連携室、岡崎副院長が相談窓口となります。

これからについて、みんなで何度も話し合しましょう

- ご本人がご高齢となり、認知症がすすんで眠りがちになっているとき
 - 自分の力では口から食べることができなくなっているとき
 - 老衰で誤嚥性肺炎をくりかえし、反応も弱くなっているとき
 - がんの末期で、何名かの医師からすでに有効な治療法がないと言われているとき
 - 脳卒中で、意識の回復が望めないほど重い脳障害があるとき
- ⇒ ご本人、ご家族、お仲間、みんなのお気持ちはすべて大切に折り合います
してあげたいこと、気になること、ご遺体の安置場所、遺影、連絡先、葬儀社など

大切なのは呼吸が止まる時ではなく、それまでをいっしょに過ごす時間です

- ありがとうの想いを聴き、ありがとうを伝えて、手足をやさしくマッサージします
- いつものように家族ですごして幸せだったお話をし、ときどきよびかけ声をかけます
- ご本人がお気に入りだった音楽を流したり、香りを整えたりします
- ご本人が大好きな飲み物でくちびるを湿らせてあげます

人生の最終段階はつらく見えてもご本人に意識はなく、苦しくはありません

- 眠っている時間が長くなり、声かけへの反応もなくなります
- つじつまの合わないことを言ったり、バタバタ落ち着かないこともあります
- のどもとで、ゴロゴロといういやな音がすることがあります
- 呼吸のリズムが乱れて不規則になり、呼吸とともに肩や下あごが動きます
- 手足は青白く冷たく脈が触れなくなり、呼吸が長く止まり「心肺停止」となります

A. 長く呼吸を休まれるようなら 119 番、救急車を呼びます

「医者からはそろそろお看取りですねと言われていました」と救急隊に告げましょう

B. 朝、穏やかに冷たくなっても 死亡診断するまで死亡ではありません

心肺停止状態で自車で来院された場合、医師が診察し、死亡診断書を発行します

C. 不審なところがあれば 110 番に連絡します

警察が検視し警察車両で病院に搬送、医師が検案し、死体検案書を発行します